



## くまもと防災宣言

- 一、ひとりひとりが、災害から自分の命を守るため、早めの避難を心がけます
- 一、もしもの時に備えるため、家族や地域で話し合います
- 一、困っている人を支えるため、地域で声を掛け合います
- 一、誰一人取り残さない社会を実現するため、県民総ぐるみで防災活動に取り組みます

## 命と自然を守る

### 防災情報等

● 防災情報くまもと

● 熊本県統合型防災情報システム



● 熊本県防災情報メールサービス

● くまもとマイタイムライン専用サイト



### 利用案内

- 開館日時 月～金 9:00～17:00
- 休館日 土日祝日・年末年始 (12月29日～1月3日)
- 入館料 無料
- 問い合わせ TEL: 096-333-2111

! 研修スペースの利用 (防災研修受講) を希望する団体は事前申込要。



● 住所  
〒862-8570  
熊本市中央区水前寺6丁目18番1号  
防災センター1階

学ぼう、防災のこと

## 熊本県防災センター Kumamoto Disaster Prevention Center 展示・学習室



©2010 熊本県くまモン



## 熊本地震 震災ミュージアム Kumamoto Earthquake Museum

県及び県内9つの市町村では、県内各地に点在する震災遺構や拠点を巡る回廊型のフィールドミュージアム「熊本地震記憶の廻廊」の取組を進めています。県防災センターと旧東海大学阿蘇キャンパスは回廊型フィールドミュージアムの中核拠点です。



58件の震災遺構を保存しています。QRコードから震災遺構一覧を見ることができます。



### 中核拠点

中核拠点とは、県が広域的な視点から熊本地震に関する情報を発信するための施設です。

#### 県防災センター(熊本市)

県庁敷地内の防災センター1階に、熊本地震の経験から得た教訓や災害対応のノウハウを学ぶことができる展示・学習室があります。

#### 旧東海大学阿蘇キャンパス(南阿蘇村)

地震の被害がそのまま残る建物とその直下を貫く断層を震災遺構として展示しています。その際には、熊本地震のメカニズムや本県の自然の恵みなどを学べる体験・展示施設があります。

問い合わせ 熊本県観光国際政策課 096-333-2011

# 熊本県防災センター展示・学習室のご案内

展示・学習室は、熊本地震や令和2年7月豪雨など、本県の過去の自然災害による被害状況や、災害のメカニズム、防災の取組などを、展示パネルやプロジェクションマッピング、VRなどにより学ぶことができます。座学やワークショップなどの防災研修を受講することができ、個人から学校、自治会や自主防災組織などの団体まで、来館者の希望に合わせた研修コースをスタッフがご案内します。



熊本地震パネル展示



プロジェクションマッピング



VR防災体験コーナー



防災ライブラリー

**復旧・復興の記録と災害への備え**

- 復旧・復興の記録
- 経験と教訓
- 防災ライブラリー
- 避難の時に
- 自助・共助・公助
- 熊本地震震災ミュージアム
- 熊本県内のライブカメラ

**VR防災体験**

- 地震災害
- 風水害

断層標本

閲覧コーナー

研修コーナー

案内

熊本地震パネル展示

**自然災害のメカニズムと熊本の災害の特徴**

- 地震災害
- 風水害
- 火山災害

**熊本の自然災害プロジェクションマッピング**

- 地震災害
- 風水害
- 火山災害

**熊本の自然災害の記録**

- 平成28年熊本地震
- 令和2年7月豪雨
- 平成24年熊本広域大水害
- その他の災害

## 研修コースの紹介（一例）

区分	団体	個人
展示パネルの見学	○	○
プロジェクションマッピングの視聴 (地震編・風水害編・火山編 各5分)	○	○
VR防災体験 (地震編・風水害編 各5分)	○	○
防災研修	○	

**!** VR防災体験をご希望の場合は、受付が必要ですのでスタッフにお声かけ下さい。なお、13歳未満の方は利用できません。

**★** 防災研修テーマの例

- 作ってみよう「くまもとマイタイムライン」
- 災害に備え、命を守るためには
- みんなで取り組もう地域の防災！内容についてはご相談下さい。

**!** 防災研修を希望する場合は、希望日の「2週間前まで」に申込をお願いします。

▶ 申し込みはこちらから

熊本県防災センター